

宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年8月23日発行

－ 2018.8.13～ 2018.8.19 － 第33週 －

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第30週	第31週	第32週	第33週
水痘	3 0.60	5 0.50	1 0.20		5 1.67	1 0.20	2 1.00	5 0.19	22 0.37	783		○	レ	
流行性耳下腺炎								1 0.04	1 0.02	144				
感染性胃腸炎	47 9.40	5 0.50	24 4.80	5 2.50	16 5.33	10 2.00		43 1.59	150 2.54	9,291	◎	◎	◎	◎
手足口病	4 0.80	3 0.30	4 0.80	6 3.00	8 2.67	3 0.60	5 2.50	21 0.78	54 0.92	1,083	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑		2 0.20		1 0.50		1 0.20	1 0.50	17 0.63	22 0.37	418	○	○	○	レ
突発性発しん	3 0.60	6 0.60	2 0.40		2 0.67	1 0.20	1 0.50	6 0.22	21 0.36	970	○	○	レ	
ヘルパンギーナ	27 5.40	31 3.10	14 2.80	9 4.50	17 5.67	4 0.80	3 1.50	75 2.78	180 3.05	1,756	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	2 0.25				2 0.40				4 0.04	34,010				
咽頭結膜熱				1 0.50	1 0.33	5 1.00		6 0.22	13 0.22	776	レ			
流行性角結膜炎		3 1.00						1 0.17	4 0.33	113				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 1.80	3 0.30	2 0.40		1 0.33	13 2.60		6 0.22	34 0.58	5,695	◎	◎	◎	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							1 1.00		1 0.08	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00			1 1.00	1 0.20	4 0.33	106				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	2 0.40	6 0.60		1 0.50	5 1.67	10 2.00	2 1.00	37 1.37	63 1.07	1,383	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	30				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1	2				1					
	川崎病								1		◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発しん症								5					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名
大崎管内 男性2名
仙台管内 男性1名
結核(無症状病原体保有者)
仙台管内 女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O121)

登米管内 男児1名*
腸管出血性大腸菌感染症(O145)
登米管内 男児1名*
腸管出血性大腸菌感染症(O157)
登米管内 男児1名*
仙台管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

塩釜管内 女性1名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名
カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*E.aerogenes*)
仙台管内 男性2名
カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*E.cloacae*)
仙台管内 男性1名
ジアルジア症
塩釜管内 女性1名(第31週)
水痘(入院例)
登米管内 女性1名
梅毒
仙台管内 男性3名
※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

栗原管内で警報レベルを継続中です。
登米管内で警報レベルを継続中です。
気仙沼管内で警報レベルを継続中です。

[ヘルパンギーナ]

塩釜管内で警報レベルを継続中です。
栗原管内で警報レベルを継続中です。
登米管内で警報レベルを継続中です。
仙台管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

手足口病患者より
登米管内 第32週採取分 エンテロウイルス71型 2件
ヘルパンギーナ患者から
塩釜管内 第32週採取分 コクサッキーウイルスA10型 5件
感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第32週採取分 *Staphylococcus aureus* 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第30週採取分 (7.23～7.29)	第31週採取分 (7.30～8.5)	第32週採取分 (8.6～8.12)
RSウイルス	3件	2件	6件
ヒトメタニューモウイルス	0件	1件	2件
アデノウイルス	1件	0件	0件
エンテロウイルス	1件	0件	1件
サイトメガロウイルス	1件	2件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	8件	1件	1件

4. 今週のコメント

【ヘルパンギーナ】

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜の水疱性の発疹を特徴とした急性ウイルス性の咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。先週に比べ患者数は減少しましたが、いまだに県内では警報レベルを超え、流行が継続しています。今後の動向に十分注意し、予防対策に努めてください。

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、O157、O26などが代表的です。県内では今週4例の患者報告がありました。主な症状は腹痛、下痢ですが、重症化すると溶血性尿毒症候群(HUS)を引き起こし死亡する例もあります。加熱不足の食肉の他、洗浄が不十分な野菜等の摂取を原因とすることもあります。食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

